

令和 5 年度 大船渡市市民活動支援事業 活動報告

団体名	一般社団法人大船渡地域戦略
事業名	ポイントサービス「大船渡さんぽ」会員と加盟店拡大キャンペーン事業

<事業概要>

コロナ感染拡大の影響で市内消費が縮小し、市内事業者の経営環境は厳しさを増しているため、ポイントサービススマホアプリ「大船渡さんぽ」の会員と加盟店の拡大により、市内経済活性化を図りたいと考え、「大船渡さんぽ新規入会キャンペーン」を行い、ポイントサービススマホアプリ「大船渡さんぽ」入会者に 300 ポイントを付与する。

<実施効果>

「大船渡さんぽ新規入会キャンペーン」を令和 5 年 7 月 21 日から開始し、12 月 31 日現在で会員数が 2,309 人に達しました。ポイントサービススマホアプリ「大船渡さんぽ」は、ポイントサービスを行うことで、大手のチェーン店ではなく市内事業者の利用を促進させるためのツールとして市民みんなで育ててほしいと思っています。

そのためには、人口比 20%以上の会員数は必要だと思っているため、会員を増加させるために本事業を利用して、「新規入会キャンペーン」を行い、現在の 1.5 倍で人口比 10%程度の会員数 3,000 人を目指します。

<今後の展開>

「大船渡さんぽ」の利用が促進されると、市内の消費動向がデータとしてわかるようになります。

人口比 10%程度になると「大船渡さんぽ」から得られる消費動向分析結果の信憑性も高くなります。

また、これまでの大船渡さんぽデータから市内消費の 40%は気仙地区在住者以外の消費であることがわかっており、これは市内では私たちが思っている以上の旅行者消費が多いと言えます。

市内事業者は、旅行者消費をどちらかと言えば軽視し、地元住民消費を意識した事業展開をしているところが多いと思うので、これを旅行者消費を意識した事業展開も加えることで、地域事業者の収益拡大に繋げていきたいと思っています。

そして、大船渡さんぽ利用者が増加し、消費動向データ量が増えてくれば、さらにデータ分析結果の信憑性が上がるので、それを市内事業者に提供して市内事業者の収益拡大を支援したいと思います。

<市民のみなさんへ一言>

「大船渡さんぽ」は、大船渡市内事業者の利用を促進する仕組みです。

市内事業者が潤うということは、大船渡市が潤うことにつながります。

東京に本社がある大手のチェーン店の品揃えはいいかもしれませんが、チェーン店が潤ってもそれが地域に還元されることはあまりありません。

地域事業者でなければ、地域には還元されないなので、大船渡の事業者を意識してご利用ください。

そして、地域事業者を利用して、得するために、大船渡さんぽをご利用ください。



チラシ・ステッカー



東海新報へ広告掲載
(令和5年7月20日、8月11日)

大船渡さんぽ
まだ使っていない人は
ここからダウンロード
してね!

androidはこちら



iPhoneはこちら

